

今後の学校配置に関する方針 その1

はじめに

現在、伯耆町には小学校5校と中学校2校があり、規模の大小はありますが、それぞれ特色ある教育がなされています。しかし、児童生徒数の減少は著しく、平成元年と現在を比較すると4割以上減少していることがわかります。この傾向は今後もさらに続くと推計されています。

伯耆町学校教育の基本理念「社会の一員として自立して生きていく児童生徒の育成」を達成するために、教育の効果を学校規模や児童生徒数だけで論じてはいけませんが、児童生徒数の減少は見過ごせない状況です。

そこで、教育委員会では「今後の学校配置に関する方針」を作成しましたのでお知らせします。

なお正式な決定は、町民の皆さんのご意見をお聞きした上で行います。

教育委員会 方針に至る経緯



平成21年 7月	学校教育検討会 答申を教育委員会へ提出
	1. 平成25年を目途に、旧町単位の小学校を統合する。
	2. 八郷・二部・日光小学校は、分校とする。
	3. 中学校はそれぞれ存続し、小中一貫教育の基幹校とする。
9～11月	答申に対する意見交換会(全10回)
11月～	学校教育専門委員会で答申の検討事項について、調査・分析
平成22年6～7月	今後の学校教育に関するアンケート実施
8月	今後の学校配置に関する方針決定

方針1

分校化及び小中一貫教育について

一、分校化は実施しない。
根拠 安全面で効果が見出せないため

二、小中一貫教育は、学校配置の形に関係なく、効果的な方法で実施する。
根拠 小中一貫教育は、発達段階に応じた教育を実施する上で不可欠な施策であり、小・中学校が施設分離型の配置であっても、カリキュラムなどを工夫すれば効果的に実施できるため。

方針2

学校配置の方針について

一、ある程度の学級・学校規模が維持でき、複数学級が編制可能な規模を学校配置の目標とする。(小・中共通)
根拠 ①各学校の少人数化の進行は顕著であり、今後は集団の中での社会性の育成や、集団による学習活動の実施を困難にすることが予想されるため。

②児童生徒は、たくさんの方達や先生の多様な個性・能力・価値観と、日常的にふれあうことで、社会性や人間性の成長の糧となるものと考えられるため。
③児童生徒の発達段階を考慮すれば、学年が上がるにつれ、多様な価値観などとの出会いは必要となる。それは、教師からの学びだけでなく、同年齢の中で、自分の意見や感想を友達のものと比較したり話し合ったりすることで、自分の成長の確認が可能となり、学習意欲も高まると考えられるため。

各学校の規模

	今後のみとおし	統合した場合
小学校	岸本小: 徐々に各学年1学級になる。 八郷小: 複式学級の可能性が生じる。	当面は、各学年2学級を維持できる。
	溝口小: 徐々に各学年20人以下になる。 二部小: 複式学級がほぼ定着する。 日光小: 新入生が0人や1人の年がある。	各学年は1学級で、当面は20～25人の学級規模を維持できる。
	岸本中: 今後は各学年2学級となり、H35年頃までは2学級を維持できる。 溝口中: H26以降は、各学年20人台の1学級がほぼ定着する。	当面は、各学年3学級をほぼ維持できるが、H35年頃からは、2学級になると推計される。

方針3 今後の学校配置の形について

- 一、岸本小学校と八郷小学校を統合し、岸本地区で一つの小学校とする。
- 二、二部小学校と溝口小学校と日光小学校を統合し、溝口地域で一つの小学校とする。
- 三、岸本中学校と溝口中学校を統合し、伯耆町で一つの中学校とする。

方針4

統合校舎の位置について

- 一、岸本地区小学校の位置は、現岸本小学校の位置としたい。
- 二、溝口地域小学校の位置は、現溝口小学校の位置としたい。
- 三、統合中学校の位置は、現岸本中学校の位置としたい。

方針5

学校統合の時期について

- 一、小・中学校の統合は、「通学時間の短縮」「きめ細やかな教育体制の整備」などの、統合への配慮・解決事項に対処しつつ、できる限り早期に実施する。
- 二、各校区などの意見調整を図りながら、順次、段階をおって学校統合を実施する。
- 三、平成29年度末を目途に、今後の学校配置の形を完成させる。
- 四、各校区等との意見調整が整わない場合は、平成32年度末を、今後の学校配置完成の最終期限とし学校統合を進める。
- 五、中学校統合についての協議は、まだ不十分であることから、平成26～29年度間の統合を目途に協議を進める。しかし、中学校統合の先行を理想の形(注1)とすることから、平成26年度の統合がベストと考える。各校区などの意見調整を図りながら、早い段階での統合を実施する。



学校統合計画案

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
岸本小	○学校統合に向けた準備 ○耐震・改修等が必要な施設の工事の実施						統合			
八郷小										
二部小					統合					
溝口小										
日光小										
岸本中										
溝口中								統合		

「学校施設の耐震・改修等の方針」「統合後の空校舎の利用方針」「統合に当たっての配慮・解決事項」「今後の教育環境の充実施策」等については、今後、順次掲載していきます。

※(注1): 小学校統合が先行すると、小学校で統合を経験し、中学校でも統合を経験する児童・保護者が多いため。

学校統合協議(各校区タウンミーティング)の開催について

教育委員会では、9月の「学校配置に関する方針説明会」を受けて、次回は、10月中旬～11月中旬に、各校区(7会場)でタウンミーティングを開催する予定です。

タウンミーティングでは、主に該当校区の小学校並びに中学校統合の時期、校舎などの後利用、統合学校の教育環境整備などについて、協議を深めていきます。

タウンミーティングの日程などは、文字放送・防災行政無線でお知らせします。多数の町民の皆さまにご参加いただきますようお願いいたします。